



守屋 剣心くん  
「ブーブーだいすき♡」  
(寺尾)



黒澤 栞音ちゃん  
「ハロウィンパーティー  
楽しみ〜♪」  
(下影森)



新田 瀬七ちゃん  
「ママ大好き★」  
(山田)



黒澤 千彩ちゃん  
「ドラえもん  
だぁ〜いすき♡」  
(下影森)



**応募方法**

1〜1歳半程度のお子さんの写真を同封し（メールの場合は、500KB以上の画像を添付）、住所・保護者の方のお名前・電話番号・お子さんのお名前（ふりがな）・性別・生年月日を明記の上、秘書広報課（✉hisyo@city.chichibu.lg.jp）までご応募ください。（件名に必ず「わが家のアイドル」とお願いします）抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく  
**秩父地域の高校**

地域の皆さんの支えで、創立50周年を迎えました  
(皆野高校)



10月24日(土)に多くの来賓を迎え、記念式典を行いました。皆野高校は昭和41年4月に組合立秩父東高校皆野分校として発足し、昭和44年3月に県立移管して、現在に至ります。

当日は、今年の世界陸上競技選手権大会にやり投げで出場した卒業生・新井涼平選手と生徒との記念座談会を実施しました。

また、生徒が成果発表として、「プロジェクトンマッピング」の実施や、菓子工房 Hashimoto（熊本町）と協力して、記念品（お菓子の詰め合わせ）をプロデュースしました。この記念品は、生徒が自然豊かな秩父らしく、若者が手に取りやすいという観点でお菓子やパッケージの選定を行いました。教員は、生徒の自由な発想を生かし、活発に意見交換を行えるようサポートしました。これからも「地域の信頼と期待に応え、ビジネス社会で通用する人材を育成する」というミッションを掲げ、秩父地域の皆さんに愛される学校を目指していきます。



**市民文芸**

短歌

新京に病む君のこし還りたるかの日の夕陽いまも忘れず  
歯を削る音に耐えんと握りたる拳の中に汗の滲み来  
コーヒーの香を纏ひつつ店に立つ「美味しかった」の笑顔を支へに  
遠き日の手紙整理に出してみる読めばなつかし捨てたるに惜しき  
西山にしずむ夕陽にあすの日の命乞いして農作業止む  
山畑で連日猿が肥えず鳴き自然の厳しき人目に見する  
菊の花つみてままごと吾と孫ひとときすぐる秋のひだまり  
買物の帰りに躓き気づくなり明日から歩こう五千歩めざし  
わずかだが人口増の九月号未来が急に開けるごとし  
夏もすぎ先生思う絵手紙にぶどうをえがきポストへ向かう

（評）内田さん、大陸の沈む夕陽への思いがとても印象的で切ない体験を存分に表現しています。齋藤さん、実感  
がこもっています。小泉さん、働ける幸せ感が伝わってきます。中村さん、手紙は単なる物ではなく、魂がこもっ  
ている、ということなのでしょうね。柴岡さん「命乞い」には「長寿を神仏に祈る」という意味があり、感謝の思いが  
伝わってきます。長瀬さん、上の句がユニークです。大畑さん、お孫さんと至福の時間を過ごされていることが素  
敵です。加藤さん、前向きな歌です。榎本さん、同感です。江原さん、受け取った先生はさぞかし喜ばれたことで  
しょう。  
※次回12月号は俳句を掲載します

綾部 光芳 選

短歌、俳句の応募は、住所・お名前（ふりがな）を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。  
短歌 11月末締切→1月号に掲載  
俳句 12月末締切→2月号に掲載